

# インフォメイト

Vol.11  
July  
2016

## 特集

### 泌尿器科ってどんな時に受診するの？

#### 「紹介状なしの大病院受診時の定額負担の導入」

#### 病院の食事と栄養管理について

#### 自治体立優良病院表彰を受賞しました

泌尿器科ってどんな病気を扱っているのか、どんな時に受診すればいいのかよくわからない人が多いのではないのでしょうか。泌尿器科で扱っている領域は、腎臓、尿管、膀胱、尿道、精巣、前立腺などがあります。これらの臓器に起こる感染症、結石、悪性腫瘍(癌)などを扱っているのです。では、実際にどんな時に受診すべきなのでしょう。みなさん、苦痛があればすぐに病院を受診すると思いますが、苦痛がないとなかなか足が向かないのが病院ではないでしょうか。その代表的なものが尿潜血です。

**尿潜血とは？**  
尿潜血とは、肉眼ではわかりませんが、試験紙で調べると分かる、わずかに尿に血の混じった状態です。実際に95%くらいの方では病的意義がないのですが、約1%の方に癌などの重大な疾患が見つかります。頻度はそう高くはないので、尿潜血があるというだけで深刻に考える必要はありませんが、放置せず念のために泌尿器科を受診していただくのが望ましいと思います。しかし、これが肉眼的血尿となるとちょっとわけが違います。とくに年輩のかたでは膀胱癌の頻度があつと増えます。癌だと痛くもかゆくもなかったり、一時的に赤くてもその後しばらくはきれいになってしまったりすることが多いので、一度でも肉眼的血尿を認めたら泌尿器科を受診するようにしてください。

## 泌尿器科ってどんな時に受診するの？

公立昭和病院 泌尿器科部長 塚本 哲郎



頻尿とは、1回の排尿量が少なく排尿の頻度が増えた状態を指します。高齢者の大部分の方が程度の差こそあれ頻尿、特に夜間頻尿を自覚しています。これは、年齢に伴う脳・心臓・腎臓・膀胱などの機能低下が影響しているためです。つまり、頻尿の多くは年齢に伴う避けがたい症状なのです。したがって、日常生活に支障をきたさない程度のものであれば治療の対象にはなりません。しかし、頻尿で困っているかたには、症状緩和のためのお薬を準備しておりますので、遠慮なくおっしゃってください。また、頻尿自体は重大な疾患と関連していても泌尿器科を受診するきっかけになりやすいので、それが契機になって前立腺癌が見つかるなんてことは稀ならずあります。

尿潜血にしても頻尿にしてもよくある現象で、即深刻に考える必要はありませんが、それがきっかけで重大疾患が見つかることがあります。ですから泌尿器科を受診したことがないかたは、かかりつけの先生に相談して、一度は泌尿器科を紹介してもらってください。

## 地域医療連携室だより!

### 医療と介護の連携について「介護保険証をご提示ください」

国の進める「医療と介護の一体的な改革」は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の医療と介護の様々な関係機関が連携し、包括的で継続的な在宅医療・介護を提供することを目指しています。

これまで医療と介護については、保険制度やしきみの違いがあり、それに係る様々な職種・立場の関係者の間で、相互の理解や情報の共有が十分にできていないなど、必ずしも円滑に連携がなされていないという問題を抱えていました。しかし、現在は市区町村が中心となって、地域の医師会等と協力しながら地域のさまざまな関係機関の連携体制の構築を進めています。

この改革では、「在宅医療」が重要な役割を担っていますが、当院は、地域の中核病院という役割の中で、関係機関との連携を強める取り組みを行っています。これまで当院は、退院支援部門の看護師や医療ソーシャルワーカーが中心となって、近隣の病院・診療所・行政、保健所、医師会との連絡を取り合った「医療の連携を進めてきました。それに加えて現在は、在宅医や訪問看護師、ケアマネージャー等の地域を支える様々な分野の方々の切れ目のない連携を目指し、取り組みを始めているところです。

### お知らせ

#### 介護保険証をお持ちください

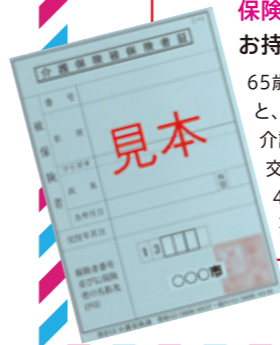
平成27年10月より、当院では以下の場合に介護保険証をお持ちいただくことになりました。

- ・初めて受診される場合
- ・紹介状をお持ちの場合
- ・入院が決まった場合

保険証とお薬手帳と共に介護保険証をお持ちください。

65歳になり介護保険の第1号被保険者になると、医療保険の保険証とは別に、1人に1枚の介護保険被保険者証(保険証)が市区町村から交付されます。

40歳から64歳の第2号被保険者は、要介護・要支援の認定を受けた人に交付されます。



その取り組みの一つとして、当院では、昨年10月より健康保険証、お薬手帳に加えて、介護保険証を患者さんにご提示いただくようになりました。介護保険証をご提示いただくことで、介護度や介護サービスの情報把握ができ、切れ目のない連携につなげることを目指しています。例えば、入院中の患者さんが退院して自宅へ帰る前に、病院(医療)とケアマネージャー(介護)が連絡を取り合っ必要準備を整えることで、安心して自宅(地域)へ戻っていただくということになります。今後も当院では、この「医療」と「介護」の連携のために様々な取り組みを行ってまいります。

## 《公立昭和病院の理念と方針》

### 【理念】

一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します

### 【方針】

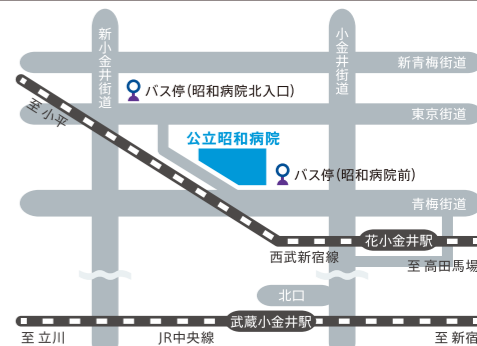
- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
- 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
- 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
- 5 信頼される優れた医療人を育成します
- 6 健全な病院経営に努めます

当院は、東京都多摩地域の小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、武蔵村山市および西東京市の8市で構成されている昭和病院企業団により運営されています。標榜診療科は全31科。休日・夜間救急医療をはじめ、高度・専門医療、予防医学的事業、地域医療センターとして高い機能を発揮して、地域の医療需要と信頼に応えています。



### 公立昭和病院

〒187-8510  
東京都小平市花小金井8-1-1  
tel.042-461-0052  
fax.042-464-7912  
www.kouritu-showa.jp





## 平成28年度の診療報酬改定で「紹介状なしの大病院受診時の定額負担の導入」が義務化されました

病院内掲示や「昭和病院企業団広報」でお知らせの通り、平成28年度診療報酬改定等に基づき、当院は、平成28年10月1日より定額負担の導入を開始することになりました。今回は制度について、どんな時に負担を求められるのか？などを中心に説明いたします。

### 1. 導入の目的は…

図1の通り、大病院と地域の診療所等との連携、及び医療機関それぞれの機能分化（役割分担）の更なる推進のため、一定規模以上の保険医療機関について、定額の徴収を責務としました。



図1 必要に応じて適切に紹介・逆紹介など

中小の病院・診療所の役割	大病院の役割
身近な病気や軽度のけがなどの診療を担当し、高度で専門的な治療が必要な患者さんを適切な医療機関（大病院など）に紹介する。	中小の病院・診療所から紹介された患者さんに、高度で専門的な治療を担当し、治療により回復した患者さんには、中小の病院・診療所に紹介する。

### 2. 「大病院」ってどんな病院？

大病院とは、特定機能病院（大学病院の本院）や一般病床500床以上の地域医療支援病院で、当院は、一般病床518床の地域医療支援病院ですので、ここで大病院に該当します。

地域医療支援病院は、紹介患者さんを中心とした医療提供、救急医療、地域の医療機関と行う研修、「かかりつけ医」への支援などの役割をもった地域の中核病院として、都道府県知事の承認を受けた病院です。東京都の地域医療支援病院は28施設あり、一般病床500床以上の病院は8施設のみとなっています。

### 3. 定額負担って…

特別な事情がない場合を除き、患者さんが紹介状を持たずに初診を受けた場合、診察料金とは別に非紹介患者加算料として、医科で5000円以上・歯科3000円以上（の定額負担をしていただくことになり、また、病状が安定もしくは回復した患者さんに対し、医師が他の医療機関への紹介を説明したにもかかわらず、再度、同じ大病院に紹介状を持たずに受診（再診）した場合は、診察料金とは別に、医科で2500円以上（歯科1500円以上）を患者さんに求めることが義務化されました。

### 4. 昭和病院の定額負担導入開始日と金額は？

開始日／平成28年10月1日	
非紹介患者加算料	
医科初診	¥5,000 (税別)
歯科初診	¥3,000 (税別)
医科再診	¥2,500 (税別)
歯科再診	¥1,500 (税別)
9月30日までは 非紹介患者初診加算料 ¥3,000 (税別)	

5. 当院は積極的に地域の医療機関との医療連携を求められています！  
高齢化の進展に伴って医療サービスへのニーズは、質・量ともにさらに増大するとみられています。このため、これまで以上に医療機関ごとの機能を明確にして、それぞれの特徴を十分に生かしながら、お互いの連携によって質が高く効率的な医療を目指す必要があります。

中小の病院・診療所などの地域の医療機関は、地域の窓口として身近な病気や軽度のけがなどに対応するとともに、高度で専門的な医療が必要な患者さんを他の適切な医療機関に紹介します。

地域医療支援病院等は、その紹介に応じた重い病気や深刻なけがのために、より高度で専門的な医療を必要とする患者さんを受け入れ、適切な治療によって回復期に入った患者さんを地域の医療機関に紹介（逆紹介）します。

円滑な医療連携が図られるよう、日常の健康管理や体調の変化などを気軽に相談できる身近な「かかりつけ医」を是非ともお持ちになり、当院を受ける際は、「かかりつけ医」などからの紹介状をもらって来院されるようお願いいたします。

### 定額負担 Q & A

- Q1** 初診時の定額負担（医科5000円又は歯科3000円）が不要な場合は？  
**A1** 左記の場合が代表的な場合があります。  
紹介状を持参されたかた  
救急搬送されたかた  
診察後、そのまま緊急入院となるかた  
難病医療・生活保護・原爆・障害者医療など、使用できる医療機関が限定される医療券で診察を受ける必要がある病気のかた（病気が指定される医療券のかたは使用可能な病気のみ）

労働災害・公務災害のかた  
**Q2** △△科は昭和病院の定期通院をしています。しかし、具合が悪くなり○○科に受診することになりました。この場合、定額負担はかかりますか？  
**A2** 定額負担はかかりません。医師から定期診察を指示された診療科が一つでもあれば、別の診療科を受診することになっていても定額負担は対象外となります。

**Q3** 昭和病院で継続的な診察と処方をしてもらっていますが、1年に1回の診察と検査をするつもりです。1年後に来院したら定額負担を支払うようになりますか？  
**A3** 定額負担はかかりません。当院の医師から今後の受診の指示、又は予約がある場合は、診察間隔が空いても継続診療中となり初診にはなりません。

**Q4** かかりつけ医からの紹介状を持参して昭和病院の○○科を受診した際、次回の来院指示はありませんでした。数週間後、別の病気で△△科を受診するつもりですが、△△科への紹介状はありますか？  
**A4** 「○○科に受診した際、次回の来院指示はありませんでした。」とあります。この場合、次回に紹介状がなく同じ○○科を受診すると、定額負担の5000円（税別）がかかることとなります。次回の診察指示がなかったのは、医師が終診と判断（当院での継続通院は不要と判断）したため、Q2とは違い継続診療ではなくなるからです。また、△△科への受診も紹介状のない初診の場合は、定額負担の5000円（税別）がかかります。

## 病院の食事と栄養管理について 栄養科長 相田 文夫

食事は、「人が生きて行く」ために非常に大事なことです。しかし、若者で痩せている人、特に女性の栄養状態は、江戸時代と同じエネルギー摂取量「1400キロカロリー」のそれ以下との報告があります。また、何でも購入して食べられる過食の時代から「肥満傾向」の人が増え、糖尿病など生活習慣病の原因の一つとなっています。さらに、調理に手間がかかるなどの理由から魚介類の消費も激減し、肉類をメインにした食事を好む家族が増えています。

栄養科が入院患者さんに提供する食事は、「日本人の食事摂取基準（厚生労働省策定）に基づく食事エネルギー量と、各種の栄養素の量に準じ、糖尿病などの食事療法が必要な患者さんの病態個別献立など、特殊専門調理師を含む50名を超す調理師が、医療の一環として提供しています。

また、「食の安全・安心」を届けられるよう国内産の食材を使い、週1回は「選択食」として患者さん自身がメイン料理を選べる食事、月2回は、「行事食」として季節料理・郷土料理・小平市内で採れた野菜などを使った地産地消料理、週3回程度提供する産後の「祝い膳」など、皆さんに好評をいただきながら美味しく食べていただけるよう、患者サービスの充実を図っています。

栄養科には、6名の管理栄養士が在籍し、栄養素などを計算し献立を作成していますが、患者さんのニーズに



産後の「祝い膳」

※写真は1例です。



行事食の「鮎刺身膳」

えることができるよう、毎日、患者さんとお会いして栄養相談を行っています。栄養相談では、栄養指導のほか、栄養状態の悪い患者さんなどは、NST（※）で評価し対応しています。このため、各種疾病に応じた栄養管理と正確な情報把握、知識の習得など、資格の取得等の専門性が要求されます。

管理栄養士は、日本糖尿病療養指導士、癌病態専門管理栄養士、病態栄養管理栄養士、健康運動指導士、NST専門士、保健指導士などの資格を取得しており、当院としても2006年10月にNST稼働施設認定病院になっています。

栄養科は、患者さんから信用・信頼されるよう、患者満足度の向上を目指して積極的に取り組んでいきます。

※NSTは入院患者さんに最良の栄養療法を提供するため、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士など職種を越えて構成された栄養サポートチーム（チーム医療）をいいます。

## 平成28年度 自治体立優良病院表彰を受賞しました

自治体立優良病院表彰は、自治体立の病院で、経営の健全性、経営努力の状況及び地域医療の確保に重要な役割を果たしている病院に授与されます。平成28年度は、全国で当院を含む12病院が受賞し、平成28年6月9日の表彰式では、全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会会長より、表彰状と表彰盾（下写真）が授与されました。

当院は、北多摩北部地域唯一の救命救急センターとして、高度化する救急、集中治療に日夜取り組み、北多摩北部・南部・西部や練馬区、新座市等の三次救急患者をできる限り受け入れ、加えて近隣諸病院の重症患者の収容依頼にも応需した救急、集中治療を行うなど、北多摩地域における責務

を遂行していることが受賞理由となりました。今後も当院の理念であります「一人ひとりの命と健康を守り、医療の質と向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します」に努めてまいります。



**公立昭和病院**

**第18回 市民公開講座**

**日時** 平成28年7月30日(土)  
14:30 ~ 16:00

**場所** ルネこだいら  
(西武新宿線 小平駅南口徒歩2分)

**第1部** **大腸がんの内視鏡的治療** 早期発見すればお腹を切らずに治せます  
公立昭和病院 内視鏡科副部長 浦牛原幸治

**第2部** **大腸がんの外科的治療** 小さな傷で体に優しい腹腔鏡下大腸がん手術  
公立昭和病院 消化器外科医長 板橋哲也

**第3部** **寝たきりにならないための口コモ予防**  
西野整形外科医長 西野俊温

(お問い合わせ)  
公立昭和病院 医事課 医事管理係  
042(461)0052代 内線 2171

主催：公立昭和病院 共催：小平市医師会 後援：小平市